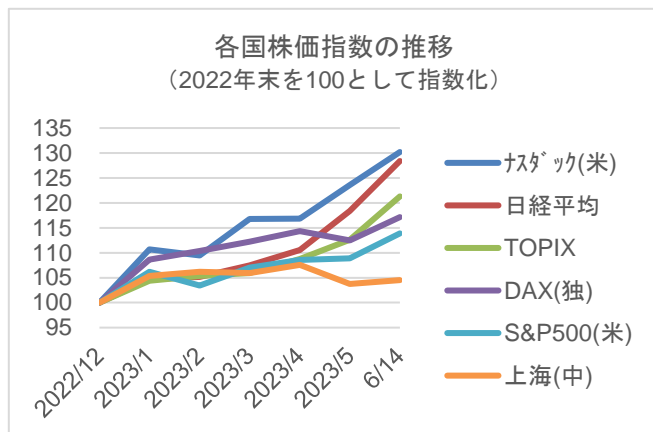


日本株の上昇について

今年に入り、日本株式の上昇が続いています。特に5月は日経平均株価で2千円を超える大幅な上昇となり3万円を軽く突破、6月も騰勢は衰えません。CBCANEWSで状況や要因等をお伝えします。

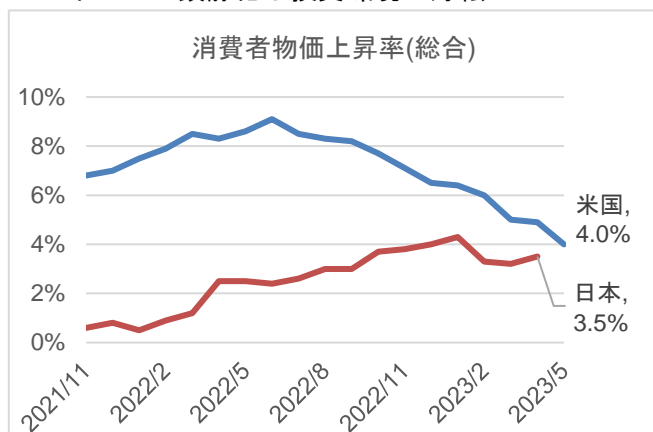
各国の株式市場の状況



今年に入り、各国とも株価の上昇が続いています。年初から6/14までの上昇率を見ると米国のナスダック指数が30.2%の上昇となっているのに続いて、日本の日経平均株価が28.4%、TOPIX(東証株価指数)では21.3%の上昇となっています。2020年、新型コロナの感染拡大による株価暴落後の急騰以来の大幅な上昇です。

株価上昇の要因として、特に大きなものを以下ピックアップします。

インフレ鎮静化し投資環境が好転



昨年の株価下落の大きな要因となったインフレと金利上昇が沈静化してきました。米国では消費者物価上昇率が低下しており、直近4-5%程度となっています。FRB(連邦制度理事会)は金融引締め姿勢を継続していますが、市場はさほど悪材料視していません。インフレはすでにピークアウトしており、金融引締めも最終段階だと予想しているからです。また、米国の景気減速は緩やかなものにとどまっており、リセッション(景気後退)には至

らないとの観測が主流です。

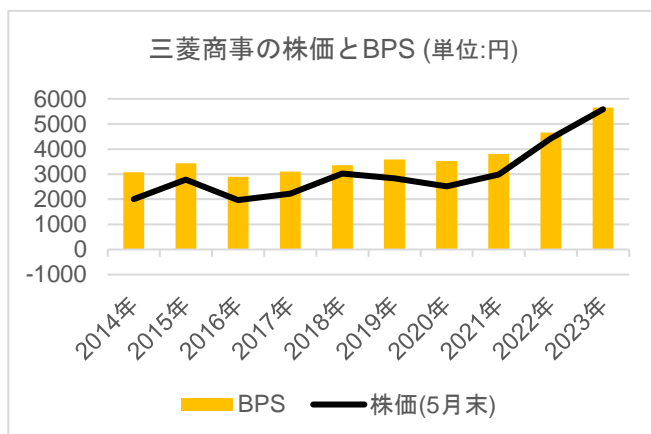
日本の物価上昇率は3-4%程度で高止まりしていますが、インフレが加速する懸念は遠のきました。日銀の総裁が交代しましたが、植田新総裁が超低金利政策を継続する姿勢を明確にしたことから、一時期高まった金利上昇への懸念は和らぎました。大企業を中心に企業業績も好調で、2022年度は大幅増益、2023年度も増益が予想されています。株式市場にとって良い環境が整っていると言えます。

割安な日本市場への注目高まる

近年、人口減少などにより低成長が続く日本市場は、米国や新興国に比べて投資する魅力が乏しいとして、株価も割安な水準に放置されることが珍しくありませんでした。

この状況に着目して日本株への投資を積極化し、注目を集めたのが「投資の神様」とも評されるウォーレン・バフェットです。

バフェット氏は、昨年後半から日本の5大商社株への投資を開始していますが、この4月に商社株への投資を追加するとともに、他の日本株への投資にも関心を持っていることを明らかにしました。

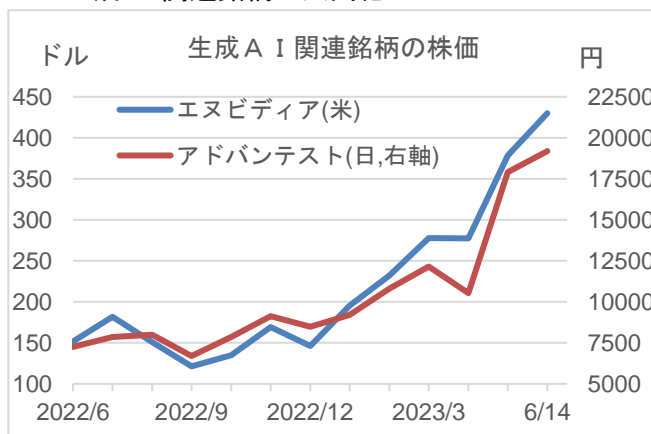


調が鮮明になりました。

例えば商社の代表格である三菱商事をみると、以前の株価は BPS(1株当たり純資産)を下回る PBR 1倍割れの割安な水準に甘んじていました。ところが、パフェット氏の投資以降人気化し、直近は BPS を上回る水準まで大きく上昇しています。

こうした動きもあり、海外の投資家の間で割安な日本市場への注目が高まりました。4月以降外国人投資家が日本株を大幅に買い越すなど投資を積極化すると、日本株の上昇基

生成 AI 関連銘柄が人気化



時として株式市場では、将来性の高い投資テーマが相場上昇を牽引することがあります。今回は ChatGPT を始めとする「生成 AI」がその役割を担っています。

5/24、ある企業の決算が大きな話題となりました。米国の大手半導体メーカーのエヌビディアは、生成 AI 向けの半導体が大幅に増え、予想を大きく超える好決算となりました。市場ではサプライズとして受け止められ、同社の株価は翌日 24% も上昇しました。

この動きを受け、日本でも生成 AI 関連銘柄の株価が急騰しました。例えば半導体制動装置メーカーのアドバンテストは、恩恵が特に大きい企業と目され、5/25 に 16% の大幅な株価上昇となりました。

このように、株式市場が堅調に推移していたところに生成 AI という魅力的な投資テーマが飛び込んできたことで、株価の上昇に弾みが付いた格好です。

今後の株式市場について

こうした投資環境に好材料が重なったことで、日本株の上昇は 5 月以降勢いを増しています。上昇速度が速いため短期的な相場過熱を警戒する声はありますが、過去的大幅な上昇局面では 1 年程度の期間上昇し続けることが多いことから、今回まだ上昇し始めて半年にすぎず、まだまだ上昇基調が続くだろうと予想する声は少なくありません。多少の乱高下はあると思いますが、余程大きな悪材料が現れない限り、日本株は当面上値を試す展開が続く可能性が高いと思われます。

一般社団法人全国経営診断士協会

〒112-0004

東京都文京区後楽 2-2-14 トータスビル 1 階

TEL : 03-3812-8211 FAX : 03-3812-8213

mail@cbca.jp

http://www.cbca.jp

お問い合わせ先